**地域密着型サービス運営推進会議記録（第　5　回）**

|  |  |
| --- | --- |
| 施設名 | グループホーム花乃苑 |
| 施設種類 | 認知症対応型共同生活介護 |
| 開催日時 | 令和　６年　１２月　２３日　　１０時００分　～　１１時００分 |
| 会場 | グループホーム　花乃苑　羽ノ浦 |
| 参加者 | 利用者代表 | １人 |
| 利用者家族代表 | ０人 |
| 民生員 | １人 |
| 高齢者お世話センター | １人 |
| 市職員 | １人 |
| 他事業所 | １人 |
| 有識者 | ０人 |
| 事業者 | １人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告事項 | 1. 現状報告

a）認知症対応型共同生活介護利用者（R6.12.23現在）男性4名　女性14名　　合計18名利用者平均年齢　87歳（74～96歳）　　　《要介護別》　要介護１（２名）要介護２（７名）　要介護３（５名）　　　　　　　　要介護４（４名）要介護５（０名）　　b）入・退居者　　　　　11/24　退居　要介護4　女性　逝去　　　　12/9　 入居　要介護4　女性　医療機関より　　　　　　　　　２．活動内容（11月～12月）　　11/9　コスモス祭り・獅子舞　　11/13　スマイルカフェ（健祥会）焼き芋、笑いヨガ　　11/18　利用者様・職員インフルエンザ予防接種　　11/20　はのうら幼稚園コスモス見学　　11/22　介護の仕事・就職フェアへ参加11/27　外部評価３.事故・ヒヤリハット報告　　服薬介助時、Aさんの内服薬をBさんに介助してしまう。すぐに職員間で誤薬に至った原因を分析し、再発防止のための対策を検討。　　・服薬介助はご本人の前で声に出して、氏名、日時等を確認する。　　・同時に複数人の介助をせず、一人ずつ確実に行う。　　・きりん調剤薬局様に薬袋の印字(特に氏名)を大きくしていただく。　(会議で頂いたご意見)　　・服薬後の薬袋はすぐに捨てずに保管し、もれなく服薬できたことを確認してから破棄するようにしている。　　・1回の服用で強い作用が出ることは少ないと思われるが、糖尿病等の薬にもよるので注意が必要。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　４．看取り介護について　　11/24の早朝。要介護4の利用者様の容態が急変し、救急搬送するも間に合わず、お亡くなりになられた。約1年前から体調を崩すことが増えてきて、その頃から終末期の対応についてご本人・ご家族様と相談し、ご意向の確認を行っていました。ご家族様からは最期まで花乃苑で生活をしたいとのご意向がありました。　(看取り介護に対する職員の意見)　　・段々と食事や水分が摂れなくなり、日々、体力が低下していく利用者様をみるのが辛くなる。入院して方が良いのでは。　　・職員の少ない時間帯に急変した場合、十分な対応ができるかが不安。　　・看取り介護を経験したことがないので不安。怖い。　　・病院に入院するよりも、最後まで利用者様らしく生活ができたので良かったと思う。　　・施設開設した20年前に比べると、延命治療を希望する家族は少なくなっている。今後ますます施設での看取り介護が増えてくると思うので、職員がスキルアップを図る必要がある。　(会議で頂いたご意見)　　・いつからが看取りの期間になるのか曖昧で判断しにくい。これまでにも亡くなる当日まで食事を摂れた方もいらっしゃる。　　・ご家族が県外在住の場合、意向の確認がとりにくい。　　・特養では看取りは日常的に行っている。看取り時期に入った際は医師からご家族様に今後の事について説明があり、延命等についての意向の確認も医師が行っている。５．その他　・11月職員研修（内部）“認知症および認知症ケアに関する研修”　・11月職員研修（外部）“ケアカフェ第2回　薬剤師との連携”　・12月職員研修（内部）“感染症予防に関する研修”　　　　　　　　　　　　“苦情処理に関する研修”　・阿南市役所様より11/22に開催された、介護の仕事・就職フェアについて・・事前の打ち合わせがもっと必要だったと思います。改善点や要望があればメール等、ご意見をお願いします。　 |